

これは、もう一つの「国難」である！

皇統を揺るがす一大事 眞子内親王の危険な選択

ジャーナリスト 安積明子

(価格) 1300 円+税 〈出版元〉 ビジネス社

株式会社ビジネス社（東京都新宿区 代表取締役：唐津隆）は、新刊書籍『皇統を揺るがす一大事 真子内親王の危険な選択』を3月22日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

天皇陛下が誕生日会見で異例の言及

ご結婚問題は、新たな展開へ？

秋篠宮家の眞子内親王と小室圭さんの婚約が発表されて、すでに3年以上が経過しました。小室家の借金トラブルが報じられるなど、この結婚を不安視する意見は少なくありません。しかしながら、小室さんは国民が納得するような会見も行わないまま米国へ留学。不信感をあおる結果となっています。

結婚反対の世論が高まるなか、今上陛下は今年2月23日の誕生日会見で、「眞子内親王の結婚については、国民の間で様々な意見があることは私も承知しております。このことについては、眞子内親王が、御両親とよく話し合い、秋篠宮が言ったように、多くの人が納得し喜んでくれる状況になることを願っております」と、異例の言及をされました。

女性宮家の創設の是非、皇女制度の問題点は？

眞子内親王のご結婚問題からは、現在の皇室が抱えるさまざまな課題が見えてきます。1億4000万円ともいわれる一時金や、女性宮家創設の是非、そして新たに考案された皇女制度の問題点など。皇室の構成人数は減る一方で、女性皇族の責任が増しているのは事実です。その責任に見合う行動を求める意見は、あながち無謀なものでもないでしょう。

本書では、皇室の過去の婚姻や、海外のロイヤルファミリーの結婚事情なども参考にしながら、眞子内親王の結婚問題の解決策や、今後の皇室について考えたいと思います。



【安積明子(あづみあきこ) プロフィール】

兵庫県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒。平成6年国会議員政策担当秘書資格試験合格。参議院議員の政策担当秘書として勤務の後、執筆活動を開始。夕刊フジ、Yahoo!など多くの媒体で精力的に記事を執筆する傍ら、コメンテーターとしてテレビ・ラジオへ出演するなど、ジャーナリストとして幅広く活躍している。著書に、『新聞・テレビではわからない、永田町のリアル』『「記者会見」の現場で見た永田町の懲りない人々』(以上、青林堂)『「新聞記者」という欺瞞』(ワニブックス)などがある。姫路ふるさと大使。

【本書の構成】

・はじめに ——これは「もうひとつの国難」だ

・第一章 皇室を揺るがす大事件

失敗した「お気持ち」文書の公表／「結婚を認める」と述べた父・文仁親王の苦悩／

皇族には憲法の人権規定が適用されるのか／眞子内親王の甘い目論見／

反対が多かった秋篠宮文仁親王の結婚 など

・第二章 これまでの内親王・女王の嫁ぎ先

皇族にしか嫁がなかった明治時代の皇女たち／三笠宮家の内親王たちの場合／

高円宮家の女王たちの場合／地味婚を選んだプリンセス、紀宮清子内親王 など

・第三章 いったん出された天皇の裁可は覆せないのか

旧法でも絶対的ではなかった「天皇の裁可」／大正天皇との婚約を取り消された伏見宮禎子女王／

昭和天皇のお妃候補たち／久邇宮朝融王事件／眞子内親王の結婚の裁可はどうなるのか など

・第四章 海外ロイヤルファミリーの結婚問題

貴賤婚では子供に王位継承権はなかった／ウォリス・シンプソン夫人(ワインザー公爵夫人)／

なぜヘンリー王子はメーガン・マークルを選んだのか／メーガン妃は「統合」の象徴だったのか／

ヘンリー王子に眞子内親王を見る／スウェーデン王室の“逆玉”成功例／

バツイチで子持ちのノルウェイ王太子妃・メッテ=マリット など

・第五章 「皇女制度」の創設と皇統の存続

動き出した「皇女制度」とは／皇女ビジネスも可能？／眞子内親王のための制度なのか／

女性宮家創立か、旧皇族の皇籍復帰か／皇室制度は日本特有の制度／

女性皇族のこれから役割 など

・最終章 国民が祝福できない理由

一時金を放棄すればすむ問題ではない／皇室の存亡にも関わる問題

・あとがき ——天皇陛下が眞子内親王に熟慮をうながす

【お問い合わせ先】

株式会社ビジネス社 PR 担当：松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地

神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com

携帯:09072611982

TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。